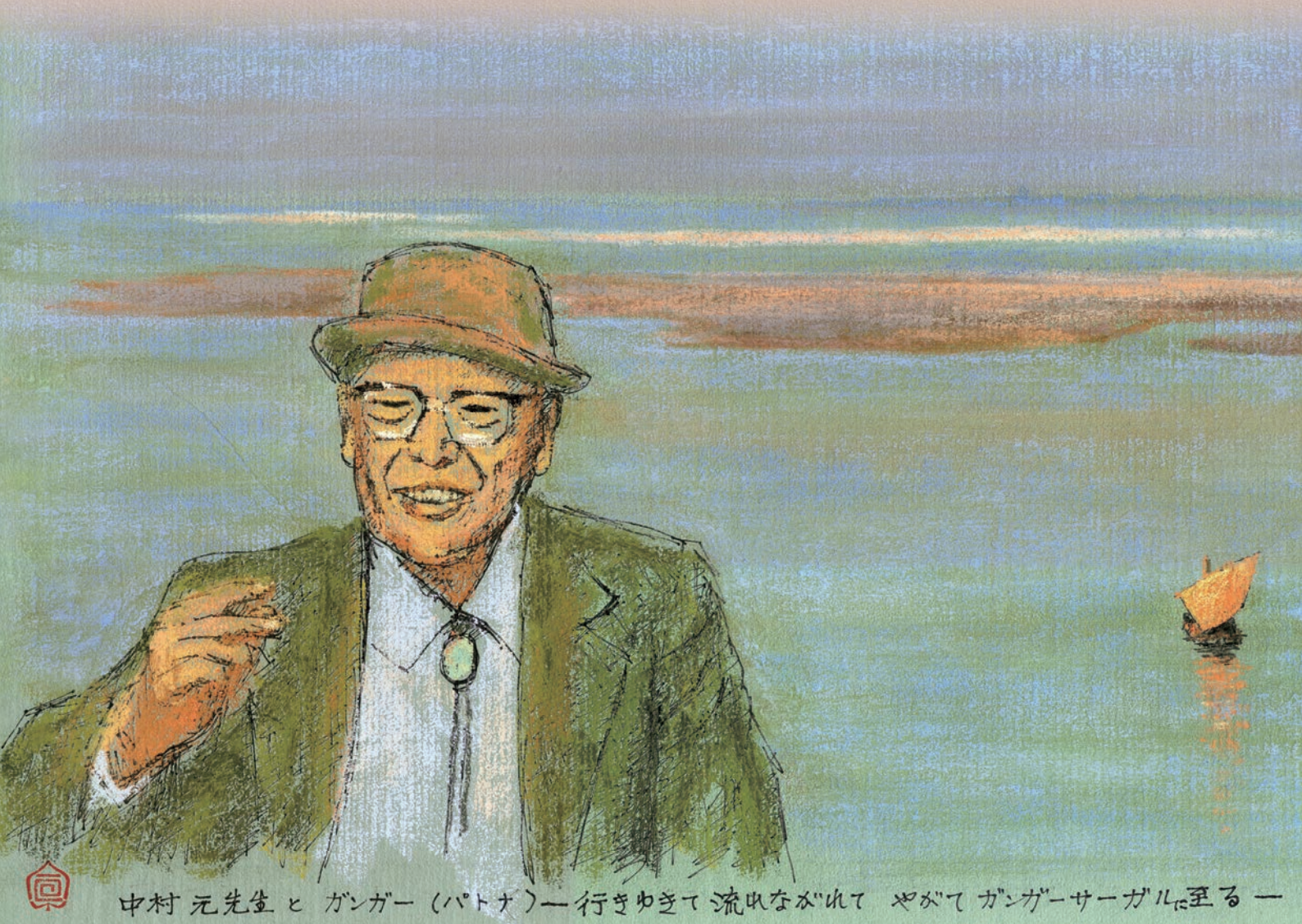
中村元記念館 Nakamura Hajime Memorial Hall
नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

東方学院松江校
中村元記念館文化講座

受講の手引き

2020年度



東方学院

理念

〈人間〉の回復をめざし
財団法人東方研究会を母胎として
ここに『東方学院』を開設しました。
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される
共同体としてのグループの連合です。
〈個人指導の場の共同体〉とでもいうべきものをめざしています。

The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.
This Academy is a cooperative body of various academic communities
of scholars and students wishing to learn,
in which scholars provide personal guidance to the students.
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point
for students and scholars.

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

目　次

東方学院　理念 ―― 2
ごあいさつ・東方学院松江校とは ―― 4
中村元記念館　各講座受講のご案内 ―― 6
受講料金表 ―― 7
中村元記念館 2020年度講義一覧 ―― 8
東方学院松江校 講義案内 ―― 10
中村元記念館文化講座 講義案内 ―― 26
2020年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール ―― 28
各講座へのお申込みのご案内 ―― 30
2020年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書 ―― 31
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集 ―― 33
中村元記念館ボランティアサポーター募集 ―― 33
中村元記念館友の会入会のご案内 ―― 34
アクセス ―― 35

表紙絵：
中村元先生とガンガー（パトナ）
―行きゆきて　流れながれて
やがてガンガーサーガルに至る―
画：石川　響

慈しみ

一切の生きとし生けるものは
幸福であれ　安穏であれ　安楽であれ
一切の生きとし生けるものは　幸であれ
何びとも他人を欺いてはならない
たといどこにあっても
他人を軽んじてはならない
互いに他人に苦痛を与える
ことを望んではならない
この慈しみの心づかいを
しっかりと　たもて

中村元訳　ブッダのことば

中村　元
(1912～1999)

インド哲学・仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛教語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。

ごあいさつ

東方学院長
前田 專學
（公益財団法人中村元東方研究所理事長・中村元記念館館長）

平成24年10月10日、私の長年の夢でありました恩師中村元先生の記念館が、大根島の中心に開設され、平成25年４月には、この記念館に東方学院松江校が、東京の東方学院本校と緊密な連携のもとに、開校されましたことは私の最大の喜びです。なぜなら大根とは、ものの根本中の根本、すなわち中村元の元を意味し、将来中海・宍道湖圏域の連携・発展の根本となり、元となり、中村元記念館と松江校がその象徴となることを願っているからです。

中村先生ご自身の書斎、毎日お使いになった34,000冊のご蔵書、その他数々のご遺品とともに、先生はこよなく愛された生まれ故郷の松江に帰ってこられました。先生は、一人でも多くの方々がこの記念館に集い、先生が開拓された学問の道を歩み、東洋の思想と文化の精華を吸収され、さらにそれを広く発信し、世界の平和と繁栄に貢献されることを願っておられるにちがいありません。

東方学院には報酬の有無を度外視して教えたいという意欲的な先生方にお集まり頂きました。当学院に入学するのに、年齢も性別も学歴も職業も問いません。唯一必須の入学条件は勉強に対する強い意欲です。それ故に東方学院では受講生とは言わず、研究会員と申します。一人でも多くの研究会員のお出でをお待ちしております。

東方学院松江校とは

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年４月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた東洋の智慧を学んでみませんか？

◆ 東方学院の特徴

・真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
・専門家のあいだの縄ばり意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
・講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
・各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
・従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
・学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
・東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあって、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ ― これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭８文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

財団法人東方研究会
名誉理事長 中村洛子
（1919～2010）

※財団法人東方研究会は平成24年7月2日付けで、公益財団法人中村元東方研究所へと名称を変更しました。

中村元記念館　各講座受講のご案内

中村元記念館では、下記の講座を開講しています。

1. 東方学院松江校 (No.1-No.20)

今年度より受講方法を選べるようになりました。

①会員料金で受講する

入会金（初年度）・年会費をお支払いいただくと研究会員として会員料金で受講できます。

・初　年　度　￥10,000（入会金）＋各講義の受講料

・次年度以降　￥ 5,000（年会費）＋各講義の受講料

＊各講義の受講料は料金表の会員料金をご覧ください。

②一般料金で受講する

入会を希望されない方は、一般料金で受講できます。

＊東方学院松江校を２講義以上受講する場合は入会（①の方法）がお得です。

＊一般料金で受講後に研究会員に申し込みされた場合でも、それまでにお支払いいただいた一般料金の受講料との差額の返金は行いません。

2. 中村元記念館文化講座 (No.21-No.23)

入会金・年会費は不要です。各講義の受講料のみお支払いください。

各種割引制度について

①早割特典

各講義とも**開講日の1週間前までにお申し込み・ご入金**されると、受講料が1000円割引になります。

【注１】お申込書の提出だけでは適用されません。

【注２】会員料金で受講する場合、入会金、年会費、受講料の全てを納入後に割引適用になります。

②中村元記念館友の会　会員割引

中村元記念館友の会の会員は、入会金、年会費が１割引きとなります。

・初　年　度　￥9,000（入会金）

・次年度以降　￥4,500（年会費）

＊中村元記念館友の会については、34ページをご覧ください。

【注】中村元記念館文化講座受講料は割引対象外です。

受講料金表

（金額は税込み表示です）

種別	NO	講義名	講師名	会員料金	早割適用（▲千円）	一般料金	早割適用（▲千円）
東方学院松江校	1	歴史を彩った人びと　その2	藤島　建樹	16,600	**15,600**	32,200	**31,200**
	2	出雲学概論	藤岡　大拙	8,800	**7,800**	16,600	**15,600**
	3	『無量寿経』を読む	齊藤　舜健	16,600	**15,600**	32,200	**31,200**
	4	中村元『ブッダの生涯』講読	清水谷善曉	8,800	**7,800**	16,600	**15,600**
	5	仏像名品の旅	的野　克之	8,800	**7,800**	16,600	**15,600**
	6	キリスト教の歴史と思想　2020	笠原　愛古	8,800	**7,800**	16,600	**15,600**
	7	ラフカディオ・ハーンの仏教観―「涅槃―総合的な仏教研究」を中心に―	横山　純子	8,800	**7,800**	16,600	**15,600**
	8	『大丈夫論』と“終末期医療”～「日本仏教」と「医療」「生命倫理」との協働可能性～	岡　　宏	11,400	**10,400**	21,800	**20,800**
	9	特別集中講義　「釈尊の誕生を考える―インド哲学研究者として」	丸井　　浩	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	10	仏教聖典へのいざない	釈　　悟震	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	11	日本における『法華経』の受容とその歴史的展開	蓑輪　顕量	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	12	「有馬温泉寺縁起絵」を読む―温泉と日本人の信仰	加藤みち子	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	3,600	**2,600**	6,200	**5,200**
	14	十三仏と冥界信仰	渡辺　章悟	3,600	**2,600**	6,200	**5,200**
	15	「和の思想」という仏教思想の日本的対応…和と空との連続と非連続	保坂　俊司	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	16	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(4)	山口　弘江	3,600	**2,600**	6,200	**5,200**
	17	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)	山口　弘江	3,600	**2,600**	6,200	**5,200**
	18	世にも不思議な（インドの寺の）物語―ヒンドゥー寺院に伝わる奇譚をひもとく―	山下　博司	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	19	インド映画と社会変化	岡光　信子	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
	20	チベット仏教入門―菩薩行入門からチベット密教まで―	平岡　宏一	6,200	**5,200**	11,400	**10,400**
文化講座	21	アジアの風土と民族音楽　～音楽で辿るシルクロード仏跡の旅	瀬古　康雄			10,600	**9,600**
	22	伝統芸道　香道とは	大谷香代子			10,600	**9,600**
	23	中国地方の神楽に見る信仰のかたち	中野　秋鹿			4,200	**3,200**

中村元記念館 2020年度講義一覧

東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	日　程	時　間	開講日	詳細ページ
1	歴史を彩った人びと　その2	藤島建樹	12	土曜日	10:30～12:00	4/4	10
2	出雲学概論	藤岡大拙	6	第２週水曜日	10:30～12:00	5/13	10
3	『無量寿経』を読む	齊藤舜健	12	第1･3･5金曜日	13:30～15:00	5/1	11
4	中村元『ブッダの生涯』講読	清水谷善暁	6	第３週木曜日	15:20～16:50	4/16	11
5	仏像名品の旅	的野克之	6	第２週土曜日	10:30～12:00	4/18	12
6	キリスト教の歴史と思想　2020	笠原愛古	6	土曜日	13:30～15:00 15:20～16:50	4/18	13
7	ラフカディオ･ハーンの仏教観―「涅槃―総合的な仏教研究」を中心に―	横山純子	6	第３週日曜日	10:30～12:00	5/17	14
8	『大丈夫論』と“終末期医療”～「日本仏教」と「医療」「生命倫理」との協働可能性～	岡　　宏	8	土曜日	10:30～12:00	5/16	15
9	特別集中講義「釈尊の誕生を考える―インド哲学研究者として」	丸井　浩	4	4/11（土） 4/12（日）	13:30～15:00 15:20～16:50 10:30～12:00 13:30～15:00		16
10	仏教聖典へのいざない	釈　悟震	4	11/1（日） 11/2（月）	13:30～15:00 15:20～16:50 10:30～12:00 13:30～15:00		17
11	日本における『法華経』の受容とその歴史的展開	蓑輪顕量	4	8/1（土） 8/2（日）	13:30～15:00 15:20～16:50 10:30～12:00 13:30～15:00		18
12	「有馬温泉寺縁起絵」を読む―温泉と日本人の信仰	加藤みち子	4	9/21（月） 9/22（火）	13:30～15:00 15:20～16:50 10:30～12:00 13:30～15:00		19

No	講義題目	講師名	回数	日　程	時　間	開講日	詳細ページ
13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	2	10/3（土）	10:30〜12:00 13:30〜15:00		20
14	十三仏と冥界信仰	渡辺章悟	2	2021/3/25（木）	13:30〜15:00 15:20〜16:50		21
15	「和の思想」という仏教思想の日本的対応…　和と空との連続と非連続	保坂俊司	4	9/10（木） 9/11（金）	13:30〜15:00 15:20〜16:50 10:30〜12:00 13:30〜15:00		21
16	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(4)	山口弘江	2	5/31（日）	13:30〜15:00 15:20〜16:50		22
17	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)	山口弘江	2	10/4（日）	13:30〜15:00 15:20〜16:50		22
18	世にも不思議な（インドの寺の）物語 ―ヒンドゥー寺院に伝わる奇譚をひもとく―	山下博司	4	6/6（土） 6/7（日）	13:30〜15:00 15:20〜16:50 10:30〜12:00 13:30〜15:00		23
19	インド映画と社会変化	岡光信子	4	12/5（土） 12/6（日）	13:30〜15:00 15:20〜16:50 10:30〜12:00 13:30〜15:00		24
20	チベット仏教入門 ―菩薩行入門からチベット密教まで―	平岡宏一	4	11/22（日） 11/23（月）	13:30〜15:00 15:20〜16:50 10:30〜12:00 13:30〜15:00		25

※講義によっては日程の一部の週数が異なる場合があります。日程詳細は各講義案内のページをご確認ください。
※講義日は変更になる場合があります。休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。
http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	日程・時間	開講日	受講料（早割料金）	詳細ページ
21	アジアの風土と民族音楽 〜音楽で辿るシルクロード仏跡の旅	瀬古康雄	6	第２週土曜日 （月１回） 13:30〜15:00	5/16	10,600 (9,600)	26
22	伝統芸道　香道とは	大谷香代子	6	第２週木曜日 （月１回） 10:30〜12:00	4/9	10,600 (9,600)	27
23	中国地方の神楽に見る信仰のかたち	中野秋鹿	2	13:30〜15:00 15:20〜16:50	9/12 （土）	4,200 (3,200)	27

東方学院松江校 講義案内

1　歴史を彩った人びと　―その２―　〈全12回〉

ふじしまたてき
藤島建樹
大谷大学名誉教授
真宗大谷派圓浄寺住職

受講料	会員 16,600円（早割 15,600円）	早割期限 2020/3/28
	一般 32,200円（早割 31,200円）	

［日　　程］土曜日　4/4、4/18、5/16、5/30、6/6、6/20、7/18
10/17、11/7、11/21、12/5、12/19
［時　　間］10：30～12：00
［テキスト］レジュメ配布

数年に亘って、中国を中心とする東アジアの歴史的歩みを概観してきましたが、これが意外に困難な仕事であることを改めて感じつつ時が流れてしまいました。昨年から少し見方を変え、各時代の中で生じた動きや、それに関わった各人の行動や心情をより深く考究し定説となっている学説を確認することに努めようとしました。しかしこれは史料の再読・再分析を要する大変な仕事で、簡単には進みませんでした。

かつて東洋史を学び始めたとき、恩師から言われた「定説といわれている事や、教科書の記述を頭から信用せず、一度考えなおす習慣を身につけろ！」との教えが改めて想い出されます。史料の熟読、分析はもとより永い間に積み重ねられた先学の論考を読破し、それを基礎に自らの歴史観を構築する作業は実に大変な作業だということを遅ればせながら再度実感している昨今です。

さて、今年は中国史が大きく変化した10世紀以後、中国史では「近世・近代」といわれる時代に入ります。漢民族中心であった東アジアが少数異民族の圧力に苦悩しつつ、拡がった世界への対応に迫られる時代に入ります。文献史料の少なさ、多言語史料の未整理・未解読など歴史研究も困難で、かつての多くの成果を生んだ地盤が保てない状態が現状といえましょう。

しかし最近の複雑さをますアジア・そして世界の激しい動きに対応するためにも「歴史から学ぶ！」ことは不可欠なことではないでしょうか。ともに根気強く学びたいものです。

2　出雲学概論　〈全６回〉

ふじおかだいせつ
藤岡大拙
荒神谷博物館館長
松江歴史館館長

受講料	会員　8,800円（早割　7,800円）	早割期限 5/6
	一般 16,600円（早割 15,600円）	

［日　　程］第２水曜日　5/13、6/10、7/8、10/14、11/11、12/9
［時　　間］10：30～12：00
［テキスト］レジュメ配布

古代出雲を中心に、出雲神話、神祇信仰、神社の実態、神仏習合過程等を述べ、続いて大和政権の支配下に入ってからの出雲が、どのような歴史を辿るかを、伊勢と出雲の二極の相関関係の中で考え、現在の出雲のよって来る歴史的因子を探りたい。

【参考書】
①出雲人　著者：藤岡大拙　出版社：ハーベスト出版　2014
②出雲国風土記　著者：加藤義成校注　出版社：今井書店　2015
③神々と歩く出雲神話　著者：藤岡大拙　出版社：NPO法人出雲学研究所　2010

3　『無量寿経』を読む　〈全12回〉

齊藤舜健（さいとうしゅんけん）
浄土宗総合研究所
主任研究員

受講料	会員 16,600円（早割 15,600円）	早割期限 4/24
	一般 32,200円（早割 31,200円）	

［日　程］第1・3・5金曜日　5/1、5/15、5/29、6/5、6/19、10/2、10/16、10/30、11/6、11/20、12/4、12/18

［時　間］13：30〜15：00

［テキスト］レジュメ配布

我が国では浄土系宗派の信者が全仏教徒の約半数を占め、それらの浄土系宗派の多くは法然（1133-1212）から始まる。法然がその教えの根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の三経典で、浄土三部経と呼ばれる。そのうち『無量寿経』には、阿弥陀仏が仏となった経緯、阿弥陀仏によって救われる理由などが述べられている。これは中国の善導（613-681）や法然の理解を通すことで、わが国の浄土教・阿弥陀仏信仰の根元となった。信徒数の多さとあいまって、この方面でのわが国の精神文化への影響は尽大なものといえよう。一方で、インドの初期大乗仏教以来の菩薩思想、現在他方の諸仏の思想に基づく経典でもある。『無量寿経』は漢訳されて以後、中国において多くの註釈研究があり、わが国でも伝来以後様々に理解されてきた。特に法然以後は浄土系諸宗派の宗義学の立場からの研究の積み重ねがあり、内容の理解はもちろん、語句や構文の理解に到るまで、宗義学的な裏づけ、後付の解釈が与えられている。その影響は極めて大きく、それらの理解を離れての『無量寿経』読解は困難な点がある。そこで本講座では、インド仏教と法然の浄土教という二つの方向から『無量寿経』を読み解く。

令和２年度は前年度からの継続で、巻下の三毒段末尾から読み始める。初回はそこまでの内容を解説する。

【参考書】

①【現代語訳】浄土三部経　著者：浄土宗総合研究所　出版社：浄土宗　2011

②浄土三部経　著者：中村 元、紀野一義、早島鏡正　出版社：岩波文庫　1990

4　中村元『ブッダの生涯』購読　〈全６回〉

清水谷善暁（しみずたにぜんぎょう）
特定非営利活動法人
中村元記念館東洋思想
文化研究所理事
公益財団法人中村元
東方研究所非常勤研究員

受講料	会員　8,800円（早割　7,800円）	早割期限 4/9
	一般 16,600円（早割 15,600円）	

［日　程］第３週木曜日　4/16、5/21、6/18、10/15、11/19、12/17

［時　間］15：20〜16：50

［テキスト］**講義までにご購入ください。**

書名：ブッダの生涯　著者：中村元　出版社：岩波書店

昭和60（1985）年４月から９月にかけて、NHKラジオ第二放送で中村元先生によって行われた全26回にわたる連続講義「こころをよむ／仏典」の活字化された「仏典をよむ」シリーズが、平成29（2017）年に岩波現代文庫から新たに出版されました。これにより、本シリーズの入手がより容易になりました。

本講義では、その「仏典をよむ」シリーズの第１巻に当たる『ブッダの生涯』を講読していきます。本年度は、第４回　生きる心がまえ―『サンユッタ・ニカーヤ』(2) の途中から再開いたします。

講義初回は前年度読み進めたところまでの解説も行いますので、今年度から受講希望される方もご安心ください。

なお、研究会員（受講者）には『ブッダの生涯』（岩波現代文庫）を購入していただく必要があります。

【参考書】

①ブッダ入門　著者：中村元　出版社：春秋社

②ゴータマ・ブッダ上・中・下　著者：中村元　出版社：春秋社

5　仏像名品の旅　〈全６回〉

的野克之（まとの かつゆき）
島根県立古代出雲歴史博物館参与

受講料	会員　8,800円（早割　7,800円）	早割期限 4/11
	一般 16,600円（早割 15,600円）	

［日　　程］第２週土曜日　4/18、5/9、6/13、10/10、11/14、12/12
［時　　間］10：30〜12：00
［テキスト］レジュメ配布

今年度のテーマは「仏像名品の旅」です。仏像について教室でいくら学んでも、実際仏像を拝観しなければ本当の素晴らしさは分かりません。今回は実際皆さんが全国の仏像を拝観する前に知っておくべき知識や、その仏像のみどころを紹介します。

実際に見て歩くことを前提にしていますので、秘仏等は避け、拝観可能な仏像を取り上げます。全て講師が実際に歩いたところばかりなので、拝観のコツもお話しします。

全国の寺院に遺る名品と言われる仏像は、各時代を代表する仏像ばかりです。仏像を学ぶにはまず名品からと言われます。寺院巡りをする予定のない方も、名品と言われる仏像の特徴などを聞けば、自然と仏像の歴史が理解できるはずです。

第１回　京都①（三十三間堂・広隆寺・三千院・東寺・平等院ほか）
第２回　京都②（六波羅蜜寺・神護寺・浄瑠璃寺・岩船寺ほか）
　　奈良①（東大寺・興福寺ほか）
第３回　奈良②（法隆寺・唐招提寺・新薬師寺・法華寺・薬師寺ほか）
第４回　滋賀（延暦寺・園城寺・渡岸寺ほか）・福井（明通寺・羽賀寺・多田寺ほか）
第５回　鎌倉（建長寺・鎌倉国宝館ほか）・静岡（願成就院）
　　東京（東京国立博物館・真如苑ほか）
第６回　島根（清水寺・萬福寺・仏谷寺ほか）・鳥取（三佛寺・大山寺ほか）
　　岡山（餘慶寺ほか）・広島（古保利薬師ほか）・山口（二尊院ほか）
　　＊取り扱う寺院は変更する場合があります。

【参考書】
ミズノ先生の仏像のみかた　著者：水野敬三郎　出版社：講談社　2019

6　キリスト教の歴史と思想　2020　〈全6回〉

かさはらなるひさ
笠原愛古
中央大学政策文化総合研究所・客員研究員
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員
中村元記念館学芸員

受講料	会員　8,800円（早割　7,800円）	早割期限 4/11
	一般 16,600円（早割 15,600円）	

［日　　程］土曜日　4/18、5/9、5/23
［時　　間］13：30〜15：00　15：20〜16：50
［テキスト］レジュメ配布

昨年度はかねてより要望のあった「キリスト教の歴史と思想」と題して、原始キリスト教と呼ばれる時代に焦点を当ててみていきました。キリスト教のある学問領域では、同じ主題について、視点を変えながら繰り返し理解を深めていく手法がとられますが、今年度は聖書を中心にみていきたいと思います。

イエスやその他のユダヤ教徒に読まれていた内容が含まれた「旧約」、イエス以後に成立し彼とその弟子たちの言行録や書簡が含まれた「新約」、それらには一体何が記され、どのように読まれてきたのでしょうか。また、終末論、死海文書、キリスト教美術（絵画）なども紹介しながら、キリスト教への理解を深めることを目指します。

これまでの講義

2019年度　キリスト教の歴史と思想
（時代と地域：１世紀から４世紀頃、地中海世界）
（内容）中村博士が不殺生の思想を見出された『聖書外伝 エッセネ派の平和福音書』の紹介をはじめとして、ヨセフスなどのイエスと同時代の歴史証言を参照しながら、原始キリスト教の歴史をたどっていきました。各回は「聖書学と歴史学」、「イエスの思想」、「原始キリスト教の成立」、「キリスト教ローマ帝国」、「正当と異端」、「キリスト教の拡大―古代末期から中世へ」という主題で進められましたが、もう一つの主題として、「一神教は排他的で、多神教は寛容」とする言説がもつ問題について、中村博士の「東洋思想全般の特徴の問題」（『比較思想論』）などを念頭に置きながら考えていきました。

2018年度　歴史学入門〜歴史的ヨーロッパの風景
（時代と地域：古代から近代、ギリシア、ベルギー、ドイツ、フランス）
（内容）『文学に現れたる我が国民思想の研究』で知られる思想史家、津田左右吉の「仏教史家に一言す」、「歴史の「学」に於ける人の回復」を導入として、いわゆるヨーロッパ世界が歴史家によってどのように描かれてきたのか、歴史家の「歴史を見る視点」を念頭におきながら、ヘロドトスやトゥキディデスなど古代の歴史叙述から近代歴史（学）の転換点となった歴史家の講義録などを中心に見ていきました。

2017年度　「北欧人」あるいはヴァイキングの思惟方法
（時代と地域：８世紀から11世紀、ノルウェーを中心とした北欧諸国）
（内容）初年度は、日本ではヴァイキングとして馴染みのある「北欧人」（スカンジナヴィアの人々）の生活を北欧の中世文学である「サガ」や「教会史」、近年の北欧史研究の動向を確認しながら見ていきました。また我が国における「北欧」受容史の一例として、中村元博士のヴァイキングに関する論考や、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の講演録「古代北欧の生活倫理」などを読んでいきました。

7　ラフカディオ・ハーンの仏教観―「涅槃―総合的な仏教研究」を中心に―　〈全６回〉

横山純子（よこやまじゅんこ）
島根大学ラフカディオ・ハーン研究会事務局長
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員

受講料	会員　8,800円（早割　7,800円）	早割期限 5/10
	一般 16,600円（早割 15,600円）	

［日　　程］第３週日曜日　5/17、6/14、7/26、10/18、11/15、12/13
［時　　間］10：30～12：00
［テキスト］レジュメ配布

2017年度はラフカディオ･ハーン（Lafcadio Hearn, 1850–1904）の『日本瞥見記』（*Glimpses of unfamiliar Japan*）の作品に焦点をあてて、その表現について考察した。2018年度は来日する前のアメリカ時代の作品である1889年出版の『チタ』（*Chita*）、1890年出版の『ユーマ』（*Youma*）の二つの小説を取り上げ、ハーンの作家としての思いとその作品について考察した。そして2019年度はハーンの作品に見られる宗教や異界に対する思いを考察した。

2020年度はこれまでのハーンについての講義を土台に、ハーンの仏教に関して取り上げている作品に焦点をあててハーンの仏教観や作品の創作過程を見ていきたい。初回では1897年に出版された *Gleanings in Buddha-Fields*（『仏の畑の落穂』）に所収された“Nirvana―A Study in Synthetic Buddhism”（「涅槃―総合的な仏教研究」）に至るまでのハーンの仏教を取り上げたハーンの作品を概観し、その後の回では「涅槃―総合的な仏教研究」を中心に取り上げる。この作品は書くのに三年余りの月日がかかっていると言われており、“Nirvana”（「涅槃」）という題名には“A Study in Synthetic Buddhism”（「総合的な仏教研究」）という副題がついているように、この作品は涅槃に関するまとまった本格的な仏教研究である。

この作品は英文で56頁あり、5章から成り立っている。それぞれの章には仏典からの引用句をエピグラフとして掲げられている。富山大学ヘルン文庫にはF. Max Müller編集の*The Sacred Books of the East*が21冊あるが、これらのエピグラフのほとんどはこれらのハーンの蔵書から引用されている。富山大学ヘルン文庫のハーンの蔵書をたどりながら、この難解な作品がどのように出来上がっていったのか、またハーンが仏教に関する考察をどのように深めていったのかハーンの仏教研究の足跡を追うのも面白いことではないだろうか。

英語は適宜参照しますが、英語は読めなくても大丈夫です。ハーンに興味のある方は一緒に楽しく学びましょう！

8　『大丈夫論』と“終末期医療”～「日本仏教」と「医療」「生命倫理」との協働可能性～〈全８回〉

岡　宏
大阪府立大学講師
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	会員 11,400円（早割 10,400円）	早割期限 5/9
	一般 21,800円（早割 20,800円）	

［日　　程］土曜日 5/16、6/20、7/25、8/22、9/19、10/17、11/21、12/19
［時　　間］10：30～12：00
［テキスト］レジュメ配布（各回、参考文献を紹介します）

「大丈夫も、お祈りですね。」

「自分を元気づけたり、大丈夫にして欲しいというような気持ち、この子に大丈夫だよって思わせてほしいと。私が思わせることができなくても何か自然を超えたようなものがちゃんと大丈夫って言ってくれないかなぁっていうような気持ちは、いつもありありますね。」（『大丈夫。』～小児科医・細谷亮太のコトバ～より）

２世紀後期頃、龍樹の高弟で『百論』の撰者として名高い、初期中観派･提婆の撰述と伝わる『大丈夫論』というテキストがあります。梵本は現存せず、北涼・道泰訳の漢訳本が現存します。

この『大丈夫論』では、“大丈夫”という言葉の重要な意味を「悲心」、つまり「慈悲の心」と論じます。この「慈悲」のはたらきについて、中村博士は、『慈悲』（平楽寺書店）の中で「宗教の壁を超え、諸宗教に通じる本質」と説きます。仮に「宗教」を「人がより良く生きる拠りどころ」と考えれば、「慈悲の心」とは、すべての人びとがよりよく生き抜くうえで、拠りどころとする根幹を貫く本質と言えます。“大丈夫”という語りが、中村博士が著したように宗教の壁を超え、諸宗教に通じる本質ならば、“大丈夫”という語りは、民族･地域の壁を超え、時間的･空間的に世界をつなぐ大切な“思惟”としての使命と可能性を秘めています。

昨年度は、「大丈夫」の意味である「悲心」について、「苦しみを抜くはたらき」という視点から、細谷医師の臨床像を参照し、考察しました。

本年度は、『大丈夫論』から「慈悲」「悲心」に関する表現を紹介し、その意味を考え、次に、臨床症例から「慈悲」や「悲心」について検討を行い、その後、話し合いを通じ理解を深めたいと考えます。

EBM（Evidence-Based-Medicine）に加え、NBM（Narrative-Based-Medicine）の役割が車輪の両輪の如く意識される現代。「大丈夫」の含意を理解し、「いのち」の物語を大切にする医療について考える必要性があります。『大丈夫論』を中心に、臨床像を考察に加えて、今後の終末期医療 / 生命倫理と仏教の協働可能性について思索します。

9　特別集中講義　「釈尊の誕生を考える―インド哲学研究者として」　〈全４回〉

丸井　浩（まるい　ひろし）
武蔵野大学・特任教授
公益財団法人 中村元東方研究所・常務理事
東京大学名誉教授

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 4/4
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］4/11　13：30〜15：00・15：20〜16：50
4/12　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］レジュメ配布

私はインド哲学を専門にしています。学生時代、仏教の講義も演習も出ましたが、正直申しあげて、仏教はよく分かりませんでした。かろうじて「分かった」といえば、「仏教論理学」くらいでした。そもそも当時の私には仏教に内在する豊かな思想的意味を汲み取るだけの心の準備ができていなかったのだと思います。またインド哲学を研究したといっても、その研究の実質的な中身は、難解なサンスクリット語で書かれたインド哲学原典を、パズルのように読み解く知的ゲームに多くの勢力を注いできた、という面が多かったのです。

ところが五十歳を過ぎた頃あたりでしょうか、ふとしたことから仏教が説く「無分別」の重要性が、にわかに自分の心に染み入るようになり、以来、仏教思想が次第に親しみやすいものへと変わっていきました。それればかりでなく、いささか未来への展望を失い、生きる意味を喪失している観のある現代という時代に生きる一人の人間として、仏教の意味をもっと考えてみたい、という思いが湧き出てきました。

ただ私は仏教論理学文献を除けば、仏教文献を専門家として研究した経験はあまりありませんので、多くの場合は、信頼できる翻訳を頼りとしながら、必要に応じて原典に遡りながらではありますが、それでも少しずつ仏教を学び始めています。中村元先生が残された膨大な仏教研究の数々の成果もまた、少しずつ私なりに考える機会が増えてきました。

前置きが長くなりましたが、以上のような事情から、今回の集中講義では、釈尊の生涯とその教えをあらためて考え直す一つの入り口として、「釈尊の誕生」について、多分に素人的な発想、疑問を生かしながら私なりに考えたところを、皆様にお話をしたいと思います。

参照する仏典は主に仏伝資料です。つまり、釈尊の生涯と前生における功徳を称えるさまざまなテキスト資料（の翻訳）にもとづき、かつ中村先生の業績をはじめとして、優れた過去の仏教研究の成果に導かれつつ、受講生の皆さんと、釈尊の言行を語り伝える仏典資料の意味を探ってみたいと思います。

授業で取り上げる予定の主な話題を以下に箇条書きします。

1. 「仏教」という言葉と、「宗教」という言葉について。
2. インドに生まれた諸宗教の中で、仏教が占める意味
3. 『徒然草』の最終段について。
4. 仏伝資料と仏伝研究について。
5. 釈尊が誕生する前の話。
6. 釈尊誕生の不思議とイエスの受胎告知。
7. 右脇から生まれる意味。
8. 誕生偈「唯我独尊」と二宮尊徳

皆さん、どうかお気軽にご参加下さい。

10　仏教聖典へのいざない　〈全４回〉

釈（しゃく）　悟震（ごしん）
中村元記念館東洋思想文化研究所副所長･文学博士
公益財団法人中村元東方研究所副総括研究員・スリランカ国立ペーラデニヤ大学客員研究員

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 10/25
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］11/1　13：30〜15：00・15：20〜16：50
11/2　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］**講義までにご購入ください。**
『仏教経典散策』中村元編著　出版社：角川文庫

「八万大蔵経（はちまんだいぞうきょう）」ともいわれるほど膨大な仏教の経典。どうして仏教はこれほど経典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの経典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化になじんでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であってほしいと願っております。

そこで本講義では、長い間もっとも難解で親しみやすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように、日頃、心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説―『スッタニパータ（経集）』、『ダンマパダ（法句経）』、『般若心経』、『華厳経』、『法華経』、『維摩経』、『勝鬘経』、『父母恩重経』、『観音経』、『金剛経』など最初期の仏教聖典、大乗仏教の聖典、密教の聖典中においても、古からもっとも著名な仏教聖典を、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教経典散策』を主要テキストとして、より分かりやすく、なおかつ担当講師独自の目線において仏教聖典への思惟方法をふまえて、そのいざないを昨年度につづいて順次講じてまいります。

膨大な仏教聖典のなかで、仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上どこの民族も有し得ない日本人特有の文化ならびに人間形成をなしとげた本テキストに挙げられた仏教経典の数々。それらに関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本にいたるまでを概観するのも、本講義の特徴であります。次年度においても本テキストに挙げられている経典を順次継続的に進捗されることを念頭において企画された講座であることを申し上げます。

本年度は、日本の精神史ならびに文化史を築き上げた聖徳太子が数多くの大乗仏教の聖典よりことさら愛しつづけ、多くの日本人に教え勧進せられた『維摩經』、『勝鬘経』、『法華経』から、不滅の真理より始め、仏教聖典のまことのいざないを学びたいと思います。

聖徳太子の経典講義の仕方は独特で、一万何千巻あるという大蔵経のなかからとくに三つの経典だけを取り出して講義されたと伝えております。その三つとは『維摩経（ゆいまきょう）』『勝鬘経（しょうまんきょう）』『法華経（ほっけきょう）』であります。

『維摩経』はヴィマラキールティという長者（富貴の人）を主題とした経典であります。ヴィマラ（vimala）とは「穢れがない」、キールティ（kirti）とは「誉れ」という意味で、「穢れなき誉れ」という意味で、その音を写して維摩といいます。

『勝鬘経』は、国王の妃である勝鬘夫人（しょうまんふじん）によって説かれたものであるという立て前であり、『維摩経』は在俗の資産家維摩居士が主人公です。また『法華経』は現実生活を肯定し、意義づける経典であると考えられていました。だから、これらの三つの経典を選んだということは、世俗生活を肯定する聖徳太子の基本的立場からは当然の帰結であったのです。

『維摩経』のテーマはこうであります。釈尊の弟子たちが維摩のところへ行くと、いろいろ質問されてやっつけられる。そして自分の至らぬことを悟らされる。最後に維摩が本当の教えを説くのであります。

そして、最後のぎりぎりの境地まで達すると、黙然無言（もくねんむごん）であったというのです。釈尊の弟子たちが、「私はこう思います。ああ思います」といろいろ真理を説いた。文殊菩薩は、最高の真理というのは言葉では説かれないもので、「文字もなく説もなし」という。そして「維摩さん、あなたはどうお考えですか」といって促すと、維摩はただじっとすわって黙然無言でした。文殊は、「一言葉にはいえない」ということを言葉に出していってしまった。ところが維摩は身をもって体現している、無言の行をおこなっていたのでした。

以上のようなストーリーの真意を確認しつつ、【仏教聖典へのいざない】を記憶に残る講義を進めたく思っております。どうかご興味とお志がおありの方々のご参集を心待ち致したく存じております。

11　日本における『法華経』の受容とその歴史的展開　〈全４回〉

蓑輪顕量（みのわ けんりょう）
東京大学大学院教授

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 9/26
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］8/1　13：30〜15：00・15：20〜16：50
8/2　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］レジュメ配布

『法華経』は古代から重要な経典として受容されたが、その変遷を講義する。『法華経』は6世紀の後半に日本にもたらされた。飛鳥時代に最初は講説が注目され、その代表が聖徳太子の講説である。そこではどんな小さな行いも悟りに繋がるという「万善同帰」が主張された。平安時代になると、『法華経』は、『金光明最勝王経』や『仁王般若経』とともに、護国の経典として受容された。また法華八講も創始され、一般に知られる経典となった。

院政期以降は、三講と呼ばれる格式の高い法会が成立したが、そこにおいても、『法華経』は講説され、人々に受容され続けていった。また、経典の講説とともに、仏教教理に関する問答が行われたが、それは論義と呼ばれた。この論義の営みも、興味深いものである。

一方、『法華経』を、読み持つものが現れたことにも注意しなければならない。彼らは持経者と呼ばれ、経典を暗誦して不思議な力を発揮した。このような受容は、『法華験記』に顕著に見られる。この流れは、古代、仏教者に、学問の道と行の道との二つがあることが示されていたが、後者の伝等の上に成り立つものである。

中世鎌倉時代になると『法華経』こそが、釈尊の真実の教えであると主張するものが現れた。これが日蓮である。日蓮が登場する一三世紀は浄土、禅がすでに紹介されており、何が真実の教えなのか、がテーマとなっていた。日蓮によって『法華経』はより所とすべき唯一の経典として選択され、多くの人々の信仰の根拠となった。

近世、近代にも『法華経』は日本人に受け入れた。新宗教の拠り所として、『法華経』の教えが人々に影響を与えたのである。

この講義では、法華経の何が人々を魅了したのか、またどのような受容の歴史があったのかを概観する。

12 「有馬温泉寺縁起絵」を読む―温泉と日本人の信仰 〈全４回〉

加藤（かとう）みち子
武蔵野大学特任教授、
中村元東方研究所主任研究員

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 9/14
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］9/21　13：30～15：00・15：20～16：50
9/22　10：30～12：00・13：30～15：00
［テキスト］レジュメ配布

『万葉集』にも温泉が登場するように、温泉と日本人には古く長い関わりがあります。

本講座では、有馬温泉に伝承される「有馬温泉寺縁起絵」に注目し、日本人の神仏への信仰について読み解いていきます。特に今回は、薬師如来という仏、女体権現という女神、閻魔大王と『法華経』をトピックとして、日本人の信仰の諸相を見ていきます。

１時限目　「温泉寺縁起」と薬師如来

日本各地の温泉場には数ある仏の中でも、薬師如来をまつることが多くなっています。薬師信仰と温泉にはどのようなつながりがあるか。温泉の開基にかかわる伝承―「温泉寺縁起」を紐解きながら、ここでは薬師信仰についてみていきます。

２時限目　仏教・神祇信仰と温泉・入浴のかかわり

ここでは、入浴の習慣の伝承や、温泉地の開創にかかわった人々に注目し仏教や神祇信仰とのかかわりと読み解いていきます。光明皇后の湯施行や、経典の由来などから、仏･神への信仰と温泉についてみていきます。

３時限目　温泉神社と温泉寺―神と仏と温泉

日本全国に温泉地には、温泉寺のみではなく、温泉神社も存在します。「温泉寺縁起」の中にも温泉神社が書き込まれています。そこで、ここでは、温泉寺の仏と温泉神社にまつられる神に注目し、神と仏のかかわりについてみていきます。

４時限目　閻魔王と埋経の話―『法華経』信仰とのかかわり

「温泉寺縁起」には、閻魔大王の宮廷への訪問譚と、『法華経』埋経のエピソードが描かれています。なぜ温泉と閻魔様がつながるのか？なぜ経典を埋めるのか？ここでは、閻魔王信仰・法華経信仰と温泉寺のかかわりについて見ていきます。

【参考書】

西尾正仁『薬師信仰―護国の仏から温泉の仏へ』2000年、岩田書院
高橋陽一『近世旅行史の研究』2016年、清文堂出版
日本温泉文化研究会編『温泉の文化誌　論集温泉学Ⅰ』2007年、岩田書院

13　やさしい英語で『歎異抄』を読む　〈全２回〉

田中（たなか）ケネス
武蔵野大学名誉教授

受講料	会員 3,600円（早割 2,600円）	早割期限 9/26
	一般 6,200円（早割 5,200円）	

［日程・時間］10/3　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］レジュメ配布
Dennis Hirota（翻訳）Tannisho:A Primer.Ryukoku University

『歎異抄』は浄土真宗の宗門を超え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる日本仏教を代表する書物であります。それが、海外でも同じであり、すでに数ケ国語に訳されていて、英語でも10冊以上の訳があるのです。

英語を通して読めば、また別の感覚と理解が生まれてくる可能性があります。私は目下、東京で三つの「英語を通しての仏教講座」を受け持っていますが、講座は大変人気があり、合計170人が受講しています。受講生からは、英語を通して仏教を学ぶと分かりやすく、また、今まで味わったことがない感覚を覚えるという意見をよく聞きます。また、若い年齢層の受講生が目立ちます。

では、『歎異抄』からのいくつかの文章がどのように訳されているかを紹介しましょう。

1）第2章、「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし。」は、Since I am one for whom any practice is difficult to accomplish, at all events hell is decidedly my home!
2）第3章「善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや。」Even a good person attains birth; how much more so the evil person!
3）第5章「そのゆへは、一切の有情はみなもて世々世々の父母兄弟なり。」The reason is, all living things – every one of them – are my parents or brothers and sisters of many lives in many states of existence.

本講では、『歎異抄』の重要な箇所を、講読して行く予定です。この授業を去年受けた方も、新しく受ける方にも興味を持って頂ける内容となると思います。

英語の文章の詳しい説明をした後、講師がその意味を真宗教学と大乗仏教の観点から日本語で詳しく説明いたします。また、現代人が直面する実存的と社会的な課題を『歎異抄』の叡智の視点から考えることにも努めることにしたいと思っています。

教科書は、Dennis Hirota（翻訳）Tannisho: A Primer. Ryukoku Universityを使用します。しかし、この本は絶版になっていますので、購入できません。したがって、講師が受講生の分を用意いたしますので、受講生は購入する必要はありません。

英語能力に自信がなくても、遠慮なく参加されることを歓迎いたします。

【参考書】
講師が用意

14　十三仏と冥界信仰　〈全２回〉

渡辺章悟（わたなべしょうご）
東洋大学教授
文学博士

受講料	会員 3,600円（早割 2,600円）	早割期限 2021/3/18
	一般 6,200円（早割 5,200円）	

［日程・時間］2021/3/25　13：30〜15：00・15：20〜16：50
［テキスト］レジュメ配布

最初に死後の世界についての文化的交渉を、インドの死後信仰から説き起こし、中国の道教の冥界信仰、チベットの枕経として知られる『チベットの死者の書』などの解説を通して、仏教の死後世界の展開を考えてみる。次いで、それらが日本仏教に与えた影響を、十三仏信仰を中心に考察する。

そもそも日本仏教の追善は、死後七日ごとに七回行われる四十九日から始まり、百か日、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、そして三十三回忌を弔い上げとする仏教習俗が代表的なものとして知られている。この仏事は道教の冥界信仰である十王信仰とそれに対する救いの仏たる十仏信仰が組みあわされ、室町時代から追善として形成されたもので、十三回の仏事に地蔵菩薩から阿弥陀、大日、虚空蔵菩薩までの十三の仏・菩薩を忌日に礼拝する、まさに日本人の生んだ仏教信仰である。

この信仰の教義的根拠を『地蔵十王経』『預修十王生七経』『弘法大師逆修日記事』などの関連文献を読み、併せて十三仏掛け軸、十三仏板碑、十三仏立像や、各地に残る十三仏巡礼の実際などを、画像資料などを通して見ていただき、その多様な展開を紹介したい。

【参考書】
書名：追善供養の仏さま　十三仏信仰 著者：渡辺章悟 出版社：渓水社

15　「和の思想」という仏教思想の日本的対応…　和と空との連続と非連続　〈全４回〉

保坂俊司（ほさかしゅんじ）
中央大学大学院教授

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 9/3
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］9/10　13：30〜15：00・15：20〜16：50
9/11　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］レジュメ配布

新元号が令和となり、和への関心が高まっています。特に和を平和の和とみなし、それを『17条の憲法』の第一条に関連付けて説明することが一般的です。しかし、伝統的に第一条の和は「やわらぐ」と訓読されて、「ワ」とは読まないのです。しかし、何故からあえて訓読を表記せず引用する伝統が定着しております。不思議なことです。

事ほど左様に、現在常識化している日本思想、特に仏教への理解はそのまま受け入れていいのでしょうか？

本年は、日本人は仏教の思想をどのように理解し、また表現〈曲解かもしれませんが〉してきたのかに関して、史料に謙虚に向き合って、考えてみたいとおもいます。先ずは、聖徳太子から順にということになります。その際、比較思想や比較文明という視野の広い学問の方法論を用います。仏教文献学や思想史学とは異なるので、予めお断りしておきます。

16　仏教漢文講読:『維摩経』をよむ(4)　〈全2回〉

山口弘江（やまぐちひろえ）
駒澤大学仏教学部
准教授

受講料	会員 3,600円（早割 2,600円）	早割期限 5/24
	一般 6,200円（早割 5,200円）	

［日程・時間］5/31　13：30〜15：00・15：20〜16：50
［テキスト］レジュメ配布

17　仏教漢文講読:『維摩経』をよむ(5)　〈全2回〉

山口弘江（やまぐちひろえ）
駒澤大学仏教学部
准教授

受講料	会員 3,600円（早割 2,600円）	早割期限 9/27
	一般 6,200円（早割 5,200円）	

［日程・時間］10/4　13：30〜15：00・15：20〜16：50
［テキスト］レジュメ配布

『維摩経（ゆいまぎょう）』は、漢訳では3巻と短い内容ながらも、東アジアの仏教思想および文化に大きな影響を与えた代表的な大乗経典の一つとされます。『法華経』などのように特定の宗派の聖典とされることはありませんでしたが、だからこそ『維摩経』は信仰や教義の垣根を超えて、多くの人々に愛読されました。また、近代以降は東アジアだけでなく、世界中の仏教学者が『維摩経』に着目し研究を行ったことで、欧米語なども含め、数多くの現代語訳が刊行されるに至っています。1999年には、これまで残っていないとされていたインド古典語のサンスクリット語によるテキストが日本の大正大学の調査隊によってチベットのポタラ宮で発見されました。この大発見によって、『維摩経』の研究は近年さらなる進展を遂げています。

お経の主人公は、仏ではなく維摩詰（ゆいまきつ）という大富豪です。在家菩薩として一目置かれる存在の維摩詰が、ある時、病気となります。その知らせを受け、仏は弟子を見舞いに遣わそうとするのですが、ここから物語は大きく展開していきます。全14章の中には、読者を惹きつけてやまない名場面が随所に設けられています。深淵な教理を巧みな譬喩で表現するレトリック、維摩詰が仏の十大弟子をはじめ、弥勒や文殊といった大菩薩をやりこめる見せ場、方丈という小さな病室に無限の空間を見せる演出など、さまざまな手法をこらして大乗経典の醍醐味を我々に示しているのです。

本講義では、『維摩経』の諸訳の中で最も広く読まれた鳩摩羅什訳『維摩詰所説経』をテキストに、本文を講読します。2018年度には「仏国品第一」、2019年度には「方便品第二」「弟子品第三」を講読しました。それらの内容をふまえつつ、5月の講座では「菩薩品第四」、10月の講座では「問疾品第五」を受講者の皆さんとともに輪読する予定です。

受講を通じて、みなさんが『維摩経』の世界を原典に基づきみずから味わい、仏教漢文の基礎を身に着けることを目的としています。

＊2018年度・2019年度の講義に続く内容ですが、今年度からはじめて受講される場合や連続で(4)(5)を受講できない場合でも理解できるよう説明しますので、新規の方もご心配なくお申し込みください。
＊受講にあたって特別な予習は必要ありませんので、これまであまり仏典に触れたことがない方や、歴史や漢文・漢字に興味のある中高生の受講も歓迎します。
＊当日は講読がメインとなりますので、漢和辞典を持参してください。新たに購入する場合は、『全訳 漢辞海』第四版（三省堂、2016年）を推奨します。

【参考書】
書名：現代語訳大乗仏典 3『維摩経』『勝鬘経』　著者：中村元　出版社：東京書籍 2003
書名：梵文和訳維摩経　著者：高橋尚夫、西野翠（訳）　出版社：春秋社 2011

18　世にも不思議な(インドの寺の)物語―ヒンドゥー寺院に伝わる奇譚をひもとく―〈全４回〉

山下博司（やましたひろし）
東北大学名誉教授
公益財団法人 中村元
東方研究所連携研究員
国立民族学博物館
共同研究員

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 5/30
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］6/6　13：30～15：00・15：20～16：50
6/7　10：30～12：00・13：30～15：00
［テキスト］レジュメ配布

ヒンドゥー教の寺院は、「神のすみか」として理想の場所をこの世に表現したものであると同時に、社会の矛盾や人間の心の闇を覗かせてくれる場所でもあります。

日本における仏教の寺や神道の社（やしろ）には、寺社の起源や霊験にまつわる「縁起（えんぎ）」が伝承されています。たとえば、中村元記念館ともゆかりの深い安来市の瑞光山清水寺の縁起譚は、寺院のホームページによるとこんな感じです。

> 当清水寺は1420年余前、用明天皇２年（西暦587年）山城国の住人、尊隆上人によって開かれたお寺です。
>
> 寺伝によると当時は山深く谷窮まり、老松古柏が鬱蒼と生い茂り、近づく者とてない気味の悪い山であったと。ところが夜になると里に向かって一条の光が現れ、里人を怖がらせていた。
>
> そんな折り、山陰道を巡錫中の尊隆上人が通りかかり、十神山の神の願いを受け、光の源を探るべく山の中腹まで登ってくると、１人の白髪の老人が現れ「今日まで観音様をお祀りしてきたが、そろそろ次の世に往かねばならぬので替わりに観音様をお祀りしてくれる人を探していたと、一体の霊像を託された。尊隆上人が小さな草堂を結んで霊像を安置したのがお寺の始まりです。
>
> しかし、当時は水が一滴も水が出なかったそうで、一週間の間、水が出るように密行を施すと、草堂の直ぐ側から水が湧き出し、その水が雨期にも濁ることなく、乾期にも枯れることなく、常に清い水を湛えたところから、山号を「観音様に巡り合える幸せな光が出た」ことから瑞光山とし、寺名を清水寺と名付けたと伝えられている。
>
> （http://www.kiyomizudera.jp/modules/kannon/index.php?content_id=5）

お寺をめぐって不可思議かつ有り難いいわれが説かれているのがわかります。これと同じように、インドのヒンドゥー寺院にも、寺の由来や祀られた神がみについての因縁話（スタラ・プラーナ、マーハートミヤ）の数々が今に伝えられています。

奇蹟の話、滑稽な話、不可思議な話、めずらしい話、色っぽい話、性的な話、残忍な話、おそろしい話、ありがたい話、おどろおどろしい話、ゾッとする話、心あたたまる話、よくできた話などなど、寺院の由来をめぐってさまざまな説話が知られていますが、今回は、それらの中からひときわ興味深い物語を選び、ひとつひとつ鑑賞していきたいと思います。

観念的・哲学的ではないヒンドゥー教の隠された側面、これまで語られても紹介されてもこなかった重要な一面について、奇譚の数々をひもときながら、覗いてみることにしましょう。同時に、インド人の生きた宗教についての知識やイメージも得られるはずです。

平易な日本語に直してお示ししますので、言葉や背景についての予備知識も教材費もいっさい不要です。講義では、画面に現地の写真なども提示しながらわかりやすく進めていくつもりです。

【参考書】

山下博司『ヒンドゥー教―インドという〈謎〉―』講談社選書メチエ

19　インド映画と社会変化　〈全４回〉

岡光信子（おかみつのぶこ）
中央大学政策文化総合研究所・客員研究員
東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所・客員研究員
東北大学講師

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 11/28
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］12/5　13：30〜15：00・15：20〜16：50
12/6　10：30〜12：00・13：30〜15：00
［テキスト］レジュメ配布

映画は、芸術作品であるだけでなく社会を映し出す鏡の役割を果たすメディアである。映画は、制作された時代や制作国の諸事情を多かれ少なかれコンテンツに反映している。インド映画も例外ではない。

映画は、社会との関係を切り離して論じることはできない。インド映画は、黎明期から現在にいたるまで、時代の流れと共にそのコンテンツと役割を変化させながら、盛衰を繰り返してきた。

インドの歴史を振り返ると、映画は、大衆にもたらす影響力ゆえに、社会にメッセージを伝える役割を果たし、プロパガンダの効率的な手段として利用されてきた。1991年、インドが経済開放政策に舵を切り、経済の成長がインドの映画産業にも大きな影響を及ぼした。このことは、インド映画に新しいジャンルの誕生と新しいオーディエンスをもたらした。

本講義は、①インド映画の変遷、②1991年以降のインド映画という二部構成をとる。

第一部は、①サイレント映画、②トーキーの時代、③言語別映画、④1960年代のインド中央政府による映画振興策と新ジャンルの映画、というインド映画の歴史を辿る。また、映画の中で繰り広げられる夢のような世界が、庶民に日常の苦しさを忘れる至福のひと時を提供し、映画が娯楽の王様となっていることについても触れる。

第二部は、1991年以降に制作されたインド映画、主にヒンディー語映画と近年制作されている新ジャンルの映画を取り上げる。91年以降に制作されるインド映画は、インド経済の転換がインド映画産業に及ぼした諸変化を具現化している。本講義では、具体的に作品を見ながら、どのような変化がインド映画産業に起こり、何を変化させているのか、映画のコンテンツを見ながら確認する。

【参考書】

『アジアのハリウッド―グローバリゼーションとインド映画』著者：山下博司、岡光信子　出版社：東京堂出版 2010
『新版　インドを知る事典』著者：山下博司、岡光信子　出版社：東京堂出版　2016

20　チベット仏教入門 ―菩薩行入門からチベット密教まで―　〈全４回〉

ひらおかこういち
平岡宏一
公益財団法人中村元東方研究所 理事
清風中学校･高等学校 校長
種智院大学 客員教授
NHK文化センター京都 講師

受講料	会員　6,200円（早割　5,200円）	早割期限 11/15
	一般 11,400円（早割 10,400円）	

［日程・時間］11/22　13：30～15：00・15：20～16：50
11/23　10：30～12：00・13：30～15：00
［テキスト］レジュメ配布

大乗仏教には、中国を経て韓国、日本に伝わった漢訳経典を中心にする仏教と、インドよりチベットに直接伝わったチベット仏教の二つがある。前者は中国の文化レベルが高かったため、仏教が中国化して伝わったと言われるが、後者においては、インドの文化レベルが高く、チベットの文化レベルとの差があまりにも大きかったためチベット化せず、ほぼインド仏教がそのまま伝わったと言われる。実際、漢訳の大蔵経に比べ、チベット大蔵経は数倍の量があり、よりインド後期仏教のかたちを正確に伝えるものとされている。

このチベット仏教には四大宗派があり、その最大のものはダライラマ法王を中心とするゲルク派である。私はゲルク派の密教の総本山ギュメ寺に1988年～89年にかけて二年間留学し、後にギュメ密教学堂第99世管長になるロサン・ガンワン師に師事する機会を得た。そして留学以降も、2009年にロサン・ガンワン師が遷化するまで20年に亘り指導を受けた。また、留学帰国後、当時東洋文庫に在籍されていたデプン寺ゴマ学堂元貫主のテンパ・ゲルツェン師に就いて五年間学び、ツォンカパの入中論注釈をすべて伝授して頂いた。またガンワン師の遷化後、留学中に『入中論』などの指導を受けたギュメ密教学堂第101世管長でセラ寺チェ学堂第75世貫主となったロサン・デレ師に就いてチベット仏教を学んでいる。

今回の講座ではインド僧シャンティデーヴァの菩薩についての著作等を題材にして講師自身が日本語に翻訳したものを使ってチベット仏教の教えを出来るだけ分かり易く説明し、チベット仏教の全体像が理解出来るようにすることを目的とする。

【チベットに伝わるシャンティデーヴァの伝説】

王家の出身であるシャンティデーヴァは、インド仏教最大の名刹ナーランダ僧院に入った。実際には高い境地の修行者であった彼だが、外からはその生活は寝て食べて排泄するだけに見えた。彼の境地が理解出来ぬ血気に逸るナーランダ僧院の僧侶たちはシャンティデーヴァを追い出そうとして一計を案じる。それは彼に説法会を依頼して恥をかかそうということであった。もしや夜逃げするのではとの僧侶たちの期待を他所に、説法会当日、玉座に上ったシャンティデーヴァの説法は見事で、その分かり易さにナーランダ僧院の僧侶たちは皆、シャンティデーヴァの弟子になったという。この説法会の内容が『入菩薩行』で、今回はダライラマ法王自身の著された注釈を中心に説明する。

・各講座の内容

1）菩提心とは何か

佛教徒であるか否かは三宝に帰依するか否かで決まるが、大乗仏教徒であるか否かは菩提心を持とうとするか否かで決まるとされている。

では菩提心とは何か。その功徳も含めてシャンティデーヴァの思想を中心に分かり易く説明する。

2）忍辱波羅蜜　佛教が説くアングリーコントロール（前編）

怒りをどのようにしてコントロールすれば良いか。シャンティデーヴァの『入菩薩行』の忍辱の章前半を、ダライラマ法王自身がどう解釈したか説明する。

3）忍辱波羅蜜　佛教が説くアングリーコントロール（後編）

シャンティデーヴァの『入菩薩行』の忍辱の章後半を、ダライラマ法王自身がどう解釈したか説明する。

4）チベット密教への誘い

密教の入門儀式である灌頂の意味も含め、即身成仏の理論体系を分かり易く説明する。

中村元記念館文化講座 講義案内〈入会金・年会費　不要〉

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。
受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

21　アジアの風土と民族音楽～音楽で辿るシルクロード仏跡の旅　〈6回〉

瀬古康雄（せこやすお）
シタール奏者
しまねガムラン主宰
島根県立大学短期大学部
非常勤講師

受講料	一般 10,600円（早割 9,600円）	早割期限 5/9

［日　程］第２週土曜日（５月のみ第３週土曜日）
5/16、6/13、8/8、10/10、11/14、12/12
［時　間］13：30～15：00
［テキスト］レジュメ配布

アジア各国の伝統的な民族音楽や舞踊はそれぞれの国の自然や文化に深く根ざしているように感じられます。インド、中国、そして日本、それぞれの音楽は、その国の人々に世代を超えて愛され、いわば、「自己の存在了解の仕方」とでも言うべき「風土性」を持っています。この講座は、民族音楽は初めてという人のための入門講座で、インド音楽を中心にして、現地で収録したビデオや熊野大社で行われた庭火祭などの日本公演のビデオを鑑賞します。今年度は、昨年度に引き続いて仏教伝来の跡を辿り、シルクロードの伝統音楽を取り上げ、シルクロード各地の仏跡の今昔についても考えてみたいと思います。

22　伝統芸道　香道とは　〈6回〉

大谷香代子（おおたにかよこ）
（公財）お香の会理事
出雲文化伝承館特別顧問
香道御家流和草会主宰

受講料	一般 10,600円（早割 9,600円）	早割期限 4/2

［日　　程］第２週木曜日　4/9、5/14、6/11、10/8、11/12、12/10
［時　　間］10：30〜12：00
［その他］材料代（香木香炭団和紙など）1000円位

日本の伝統芸道のなかで、茶道・華道・香道は、三位一体と考えられ、国民文化祭では『生活文化』とされています。

香道のルーツは、茶道華道と同様に中世室町時代の東山文化の中にあり、茶は村田珠光が、華は池坊専慶、香は三條西実隆と志野宗信がそれぞれ「道」となっていく流祖と目されています。

香道の研究はあまり多くなされていませんが、この講座を通して共に学び歩を進めて行きたいと考えています。

現在の香道は、組香が中心となっています。日本文化に通底する「和歌」とのかかわりに注目し、組香を体験しながら、より広がりをもって香道というものを体験認識して頂きたいと考えています。

１、日本文化の中の伝統芸道香道とは
　　香の種類（配合香と香木）　聞香体験
２、香道具のいろいろ（名称と使い方）
　　組香とは
　　組香体験　　系図香
３、組香の成り立ち
　　組香体験　　菖蒲香
４、香席の実際
　　組香体験　　白河香
５、和歌と組香
　　組香体験　　初霜香
６、大枝流芳（岩田信安）の業績
　　組香体験　当座香（俳句香）

23　中国地方の神楽に見る信仰のかたち　〈全2回〉

中野秋鹿（なかのあいか）
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	一般 4,200円（早割 3,200円）	早割期限 9/5

［日程・時間］9/12　13：30〜15：00・15：20〜16：50
［テキスト］レジュメ配布

古来、人々は神楽に何を託してきたのか？

本年、東京オリンピック・パラリンピックに併せて、石見神楽の国立劇場公演が決定し、なんと史上初50頭もの大蛇が舞台を埋め尽くすそうです。近年、インバウンドの増加等に伴い、国は文化財のあり方として、その「活用」に重きを置く政策を加速させています。神楽も地域が誇る無形の文化財であり、観光資源として積極的に活用されている現状があります。

一方、観光資源としての華々しい側面とは対照的に、神楽を生み出し、発展させてきた地域の信仰のあり方は、急速に変化し、失われつつあります。

中国地方の神楽は、非常に複雑で重層的な構造を有しており、舞、歌、語り、儀式、道具や飾り、供物の数々、あらゆるものに、その地域の暮らしに根ざした信仰のかたちが顕れています。

荒神、大元神、かまど神、山の神、出雲信仰、大山信仰……神楽を通して、先人達が遺した、そして今なお一部の地域で大切に守り伝えられている信仰の姿を探ります。

2020年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座　年間スケジュール

2020年 4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水		1	金	齊藤②	1	月	休館日	1	水		1	土	蓑輪②③	1	火	
2	木		2	土		2	火		2	木		2	日	蓑輪①②	2	水	
3	金		3	日		3	水		3	金		3	月	休館日	3	木	
4	土	藤島①	4	月	休館日	4	木		4	土		4	火		4	金	
5	日		5	火		5	金	齊藤②	5	日		5	水		5	土	
6	月	休館日	6	水		6	土	藤島① 山下②③	6	月	休館日	6	木		6	日	
7	火		7	木		7	日	山下①②	7	火		7	金		7	月	休館日
8	水		8	金		8	月	休館日	8	水	藤岡①	8	土	瀬古②	8	火	
9	木	大谷①	9	土	的野① 笠原②③	9	火		9	木		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水	藤岡①	10	金		10	月	休館日	10	木	保坂②③
11	土	教務委員会 丸井②③	11	月	休館日	11	木	大谷①	11	土		11	火		11	金	保坂①②
12	日	丸井①②	12	火		12	金		12	日		12	水		12	土	中野②③
13	月	休館日	13	水	藤岡①	13	土	的野① 瀬古②	13	月	休館日	13	木	休館日	13	日	
14	火		14	木	大谷①	14	日	横山①	14	火		14	金	休館日	14	月	休館日
15	水		15	金	齊藤②	15	月	休館日	15	水		15	土	休館日	15	火	
16	木	清水谷③	16	土	岡① 藤島① 瀬古②	16	火		16	木		16	日		16	水	
17	金		17	日	横山①	17	水		17	金		17	月	休館日	17	木	
18	土	的野① 藤島① 笠原②③	18	月	休館日	18	木	清水谷③	18	土	藤島①	18	火		18	金	
19	日		19	火		19	金	齊藤②	19	日		19	水		19	土	岡①
20	月	休館日	20	水		20	土	岡① 藤島①	20	月	休館日	20	木		20	日	
21	火		21	木	清水谷③	21	日		21	火		21	金		21	月	加藤②③
22	水		22	金		22	月	休館日	22	水		22	土	岡①	22	火	加藤①②
23	木		23	土	笠原②③	23	火		23	木		23	日		23	水	
24	金		24	日		24	水		24	金		24	月	休館日	24	木	
25	土	ぼたんまつり	25	月	休館日	25	木		25	土	岡①	25	火		25	金	
26	日	ぼたんまつり (記念館ステージ)	26	火		26	金		26	日	横山①	26	水		26	土	
27	月	休館日	27	水		27	土		27	月	休館日	27	木		27	日	
28	火		28	木		28	日		28	火		28	金		28	月	休館日
29	水		29	金	齊藤②	29	月	休館日	29	水		29	土		29	火	
30	木		30	土	藤島①	30	火		30	木		30	日		30	水	
			31	日	山口②③				31	金		31	月	休館日			

講義時間：①10：30～12：00　②13：30～15：00　③15：20～17：00

10月			11月			12月			2021年 1月			2月			3月		
1	木		1	日	釈②③	1	火		1	金	休館日	1	月	休館日	1	月	休館日
2	金	齊藤②	2	月	釈①②	2	水		2	土	休館日	2	火		2	火	
3	土	田中ケネス①②	3	火		3	木		3	日	休館日	3	水		3	水	
4	日	山口②③	4	水		4	金	齊藤②	4	月	休館日	4	木		4	木	
5	月	休館日	5	木		5	土	藤島① 岡光②③	5	火		5	金		5	金	
6	火		6	金	齊藤②	6	日	岡光①②	6	水		6	土		6	土	
7	水		7	土	藤島①	7	月	休館日	7	木		7	日		7	日	
8	木	大谷①	8	日		8	火		8	金		8	月	休館日	8	月	休館日
9	金		9	月	休館日	9	水	藤岡①	9	土		9	火		9	火	
10	土	的野① 瀬古②	10	火		10	木	大谷①	10	日		10	水		10	水	
11	日		11	水	藤岡①	11	金		11	月	休館日	11	木		11	木	
12	月	休館日	12	木	大谷①	12	土	的野① 瀬古②	12	火		12	金		12	金	
13	火		13	金		13	日	横山①	13	水		13	土		13	土	
14	水	藤岡①	14	土	的野① 瀬古②	14	月	休館日	14	木		14	日		14	日	
15	木	清水谷③	15	日	横山①	15	火		15	金		15	月	休館日	15	月	休館日
16	金	齊藤②	16	月	休館日	16	水		16	土		16	火		16	火	
17	土	岡① 藤島①	17	火		17	木	清水谷③	17	日		17	水		17	水	
18	日	横山①	18	水		18	金	齊藤②	18	月	休館日	18	木		18	木	
19	月	休館日	19	木	清水谷③	19	土	岡① 藤島①	19	火		19	金		19	金	
20	火		20	金	齊藤②	20	日		20	水		20	土		20	土	
21	水		21	土	岡① 藤島①	21	月	休館日	21	木		21	日		21	日	
22	木		22	日	平岡②③	22	火		22	金		22	月	休館日	22	月	休館日
23	金		23	月	平岡①②	23	水		23	土		23	火		23	火	
24	土		24	火		24	木		24	日		24	水		24	水	
25	日		25	水		25	金		25	月	休館日	25	木		25	木	渡辺②③
26	月	休館日	26	木		26	土		26	火		26	金		26	金	
27	火		27	金		27	日		27	水		27	土		27	土	
28	水		28	土		28	月	休館日	28	木		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火	休館日	29	金					29	月	休館日
30	金	齊藤②	30	月	休館日	30	水	休館日	30	土					30	火	
31	土	教務委員会 文化賞授賞式				31	木	休館日	31	日					31	水	

各講座へのお申込みのご案内

●受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください。（お電話・FAXでの申し込みはできません）
お申し込みは入金が確認できた時点で完了いたします。

1．窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（31ページ）にご記入の上、入会金、年会費、受講料と一緒に提出してください。

2．振込でのお申込み・お支払い

(1) 入会金（初年度のみ）、年会費、受講料を、下記の口座にお振込みください。
注1．振込手数料はご負担ください
注2．振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。
注3．振込の場合、領収書の発行は致しません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。

(2) 受講申込書（31ページ）にご記入の上、(1) の振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。
〈郵送先〉〒690-1404　松江市八束町波入2060番地　中村元記念館宛

【振込先】
■ゆうちょ銀行　（この冊子に添付の払込票をご利用ください）
口座番号　01370-8-91228　　加入者名　中村元記念館
■山陰合同銀行　松江駅前支店（店番号004）
口座番号　普通3694628
口座名義　特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

●受講にあたっての留意事項

①講義によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講義がございます。
各講義案内のページをご確認ください。
②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。
⑤講義時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
⑥布教活動・政治活動・物品販売など講義に関係のない行為はお控えください。

●体験受講制度について

東方学院松江校の定期講義、文化講座の一部については、第1回目、第2回目のいずれかの講義に限り体験受講ができます。体験受講を希望される方は、事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。

体験受講料：￥1,600―
（体験後、正式に申し込みをされる場合、受講料金は体験受講料を差し引いた金額となります。）

●その他

頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

2020年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

		申込日　　年　　月　　日	
ふりがな		性別	生年月日
氏　　名		男・女	年　　月　　日
住　　所	〒　　ー		
電話番号			（緊急の際に連絡がつく番号をお書きください）
E-mail			

◆ 会員申込区分（該当欄に☑を入れてください）

□会員ならず一般料金で受講する			
□会員になって受講する	□新規 ￥10,000	□継続 ￥5,000	（あ）
□友の会会員で会員になって受講する（本誌34ページをご覧ください）	□新規 ￥ 9,000	□継続 ￥4,500	

◆ 受講する講義Noに○印をつけてください。
◆ 早割のお申し込みの場合は早割適用欄にも○印をつけてください。

種別	番号	講義名	講師名	会員料金	一般料金	早割適用		事務局記入欄		
				当てはまる金額に○印をつけてください		早割締切日	○印	受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	歴史を彩った人びと　その2	藤島建樹	16,600	32,200	3月28日				
	2	出雲学概論	藤岡大拙	8,800	16,600	5月6日				
	3	『無量寿経』を読む	齊藤舜健	16,600	32,200	4月24日				
	4	中村元『ブッダの生涯』講読	清水谷善曉	8,800	16,600	4月9日				
	5	仏像名品の旅	的野克之	8,800	16,600	4月11日				
	6	キリスト教の歴史と思想　2020	笠原愛古	8,800	16,600	4月11日				
	7	ラフカディオ・ハーンの仏教観「涅槃―総合的な仏教研究」	横山純子	8,800	16,600	5月10日				
	8	『大丈夫論』と"終末期医療"～「日本仏教」と「医療」「生命倫理」との協働可能性～	岡　　宏	11,400	21,800	5月9日				
	9	特別集中講義「釈尊の誕生を考える―インド哲学研究者として」	丸井　浩	6,200	11,400	4月4日				
	10	仏教聖典へのいざない	釈　悟震	6,200	11,400	10月25日				
	11	日本における『法華経』の受容とその歴史的展開	蓑輪顕量	6,200	11,400	7月25日				
	12	「有馬温泉寺縁起絵」を読む―温泉と日本人の信仰	加藤みち子	6,200	11,400	9月14日				
	13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	3,600	6,200	9月26日				
	14	十三仏と冥界信仰	渡辺章悟	3,600	6,200	2021年3月18日				
	15	「和の思想」という仏教思想の日本的対応… 和と空との連続と非連続	保坂俊司	6,200	11,400	9月3日				
	16	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(4)	山口弘江	3,600	6,200	5月24日				
	17	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)	山口弘江	3,600	6,200	9月27日				
	18	"世にも不思議な（インドの寺の）物語―ヒンドゥー寺院に伝わる奇譚をひもとく―"	山下博司	6,200	11,400	5月30日				
	19	インド映画と社会変化	岡光信子	6,200	11,400	11月28日				
	20	チベット仏教入門 ―菩薩行入門からチベット密教まで―	平岡宏一	6,200	11,400	11月15日				
文化講座	21	アジアの風土と民族音楽～音楽で辿るシルクロード仏跡の旅	瀬古康雄	10,600		5月9日				
	22	伝統芸道　香道とは	大谷香代子	10,600		4月2日				
	23	中国地方の神楽に見る信仰のかたち	中野秋鹿	4,200		9月5日				
			受講料合計（い）	円		割引合計金額（う）○印×1000円	円			

お支払合計：（あ）＋（い）－（う）	円

受　付	データ	備　考

《送付先》
〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060　中村元記念館
※窓口に提出するか、振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に郵送してください。

キリトリ線

●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

〈活動内容〉
- 隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- 可能であれば、関連する学会で発表をする。
- 人文科学分野の研究を振興する。

〈応募資格〉
- 人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- 中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。
- 履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- 研究課題書
- 推薦書

〈応募締切〉

毎年度　２月末日

〈待遇〉
- 当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- 研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- 研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

所長	前田専學
副所長	釈悟震
副所長	丸井浩
主任研究員	岡田真水
主事	清水谷善曉
主事補	笠原愛古

●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。
ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。

詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

〈活動内容の例〉
- 蔵書整理
- イベント運営
- 付属研修施設の環境整備
- チラシ等発送業務
- 語学（翻訳/通訳）

Nakamura Hajime Memorial Hall

中村元 記念館 友の会 入会のご案内

中村元記念館では、東洋思想の巨星 中村 元（なかむら はじめ）博士の偉業を伝え、34,000冊を超える博士の蔵書の調査・整理、収蔵品の管理、東方学院松江校運営など、幅広い活動を行っております。当館の活動をご理解、ご支援いただき、また、会員同士の親睦を図る友の会に入会いただきますようご案内いたします。

年会費 年間２千円（毎年3月末日が有効期限となります）

会員特典
- 「中村元記念館友の会」会員証を発行します。
- 中村元記念館の「中村元記念館通信」をお送りします。
- 東方学院松江校入会金、継続事務費10%OFFにします。
- 記念館で販売する書籍・グッズの割引をします。
- 提携施設の入場料が割引料金になります。
- 友の会限定交流会のご案内をいたします。

入会のお申込み方法 次ページの払込取扱票（入会申込書）に、住所、氏名、電話番号、金額をご記入の上、点線に沿って切り取り、お近くの郵便局にお払込みください。（年会費：2,000円）会費ご入金日より会員となります。会員継続は自動更新となります。退会を希望される際は事務局までご連絡ください。

◆ 中村元記念館友の会 規約

（名称）第1条 この会員制度は、中村元記念館友の会（以下「友の会」）という。**（事務局）第2条** 友の会事務局は、中村元記念館に置く。**（目的）第3条** 友の会は、館の活動を支援して、会員相互の親睦を図ることを目的とする。**（会員）第4条** 会員とは、前条の目的に賛同し、この規約を承諾のうえ会費を納入するものをいう。2.会員には会員証を発行する。3.会員資格は、4月1日から翌年3月31日までとし、会員より退会の申し出がない限り自動的に更新する。**（年会費）第5条** 会費は、年間２千円とし、次のいずれかの方法により納入する。（1）事務局に直接持参（2）指定口座に振込**（会員の特典）第6条** 友の会会員は、次の特典を受けることが出来る。（1）「中村元記念館友の会」会員証を発行します。（2）中村元記念館の「中村元記念館通信」をお送りします。（3）東方学院松江校入会金、継続事務費10%OFFにします。（4）記念館で販売する書籍・グッズの割引をします。（5）提携施設の入場料が割引料金になります。（6）友の会限定交流会のご案内をいたします。**（会員証の紛失、盗難）第7条** 会員は、会員証の紛失や盗難にあった場合、ただちに事務局に届け出て、会員証の再発行を受ける。2.会員証が名義人以外に利用され、会員または友の会に損害を生じさせた場合は、名義人がその損害の責を負う。**（届出事項の変更等）第8条** 会員は、氏名、住所等に変更が生じた場合には、すみやかに事務局に届け出る。**（退会届）第9条** 会員は、退会する場合はその旨を事務局に申し出る。**（規約の変更）第10条** 友の会は、必要があるときは、この規約を変更することができるものとし、変更する場合は、会員に通知する。（附則）この規約は平成27年4月1日から適用する。

アクセス

飛行機でお越しの方

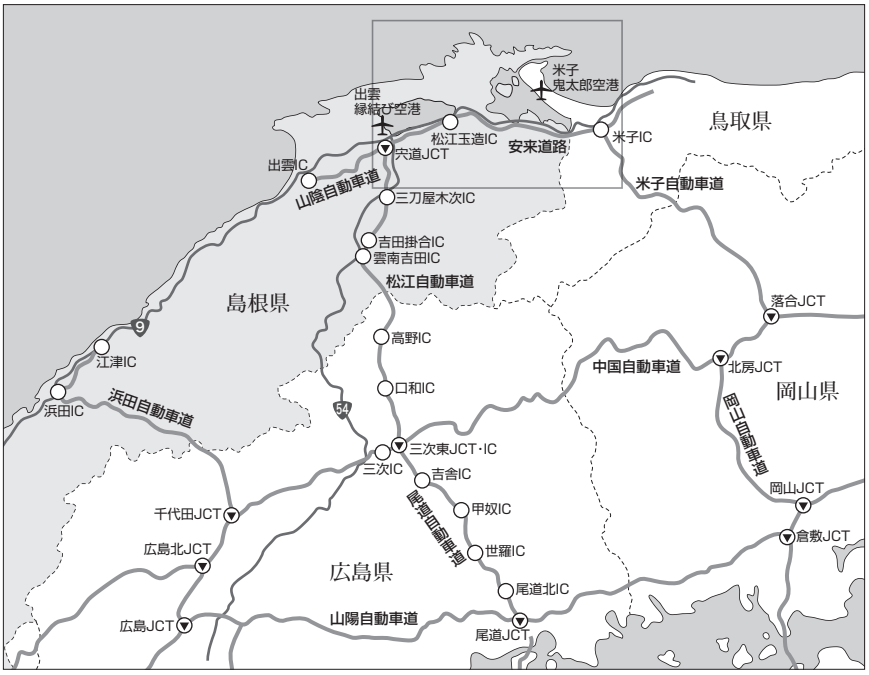
【米子空港から】車で約15分
【出雲空港から】車で約50分

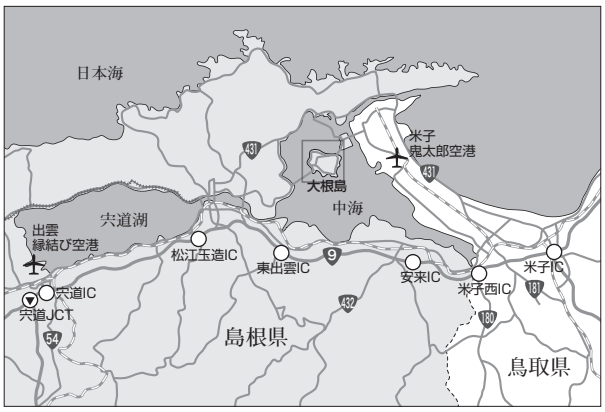
車でお越しの方

【広 島 か ら】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）
【岡 山 か ら】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）
【松江駅から】車で約25分
【境港駅から】車で約10分
【米子駅から】車で約35分

バスでお越しの方

【松江駅から】
・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車
・松江境港シャトルバス約25分「由志園」下車のち徒歩約10分
【境港駅から】
・八束コミュニティバス約20分「八束町・由志園入口」下車のち徒歩約3分
・松江境港シャトルバス約15分、「由志園」下車のち徒歩約10分





Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

2020年３月１日　発行

発行所　特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060番地　松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/